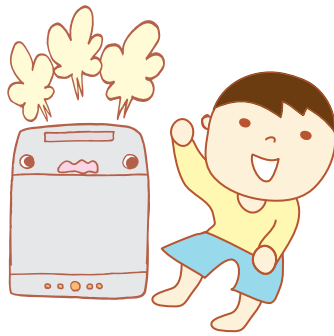


予測できない子ども事故に注意してください

加湿器でやけど

事例
乳児が加湿器でやけどを負った。(2009年10月 大阪府)

原因
床に置いていた加湿器の蒸気吹き出し口に幼児が触れたものです。



人形の脚に指を挟んでけが

事例
幼児がロボット型の人形の脚のすき間に指を挟まれてけがをした。(2009年4月 茨城県)

原因
人形の脚の内側に指が入るすき間があり、ひざを動かすとすき間が狭くなることから、遊んでいる際に指をはさんだものです。

電池を飲み込んだ!

事例
ビデオカメラのリモコンを触っていた幼児が、開かないはずの電池ホルダーの中のボタン電池を飲み込んでいた。(2008年11月 埼玉県)

原因
歯の生え揃っていない幼児がリモコンを口に入れた際、偶然ふたとの勘合部に歯が入ったため、ロックを外れるとともに電池ホルダーが引き出されたものです。

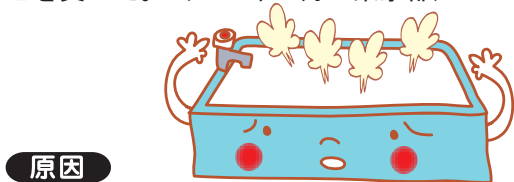


子どもの手の届くところには、熱源を持つものを置かないでください。
子どもがそばにいるときは、高温のものや重いものなどの作業には気をつけてください。落下などで子どもが事故に巻き込まれることがあります。
玩具等に鋭利な部分がないかどうか確認してください。玩具等がリコール品でないかどうか確認してください。

親の不注意が原因の事故も発生しています

風呂場でやけど

事例
湯をはった浴槽に幼児を抱え上げて入れたら、やけどを負った。(2008年7月 東京都)



原因
リモコン操作を誤って差し湯の追い炊きをしたため、高温の湯が溜まっていた。さらに浴槽の温度を確認していませんでした。

クローゼットの折れ戸でけが

事例
幼児がクローゼットの折れ戸に指を挟まれてけがをした。(2008年10月 静岡県)

原因
幼児の指が折れ戸のすき間にあることに親が気づかず、戸を閉めたためです。



温水洗浄便座から出火

事例
温水洗浄便座付近から出火し、便座と周辺が焼けた。(2010年10月 茨城県)

原因
長く使っている間に、便座の開閉による曲げでコードに傷がつき、芯線も断線していました。コードの傷の部分に尿や洗剤などが浸入してトラッキング現象※が発生し、出火したものです。



温水洗浄便座のコードや電源部に水や洗剤がかからないよう注意してください。

※テーブルタップやコンセントに電源プラグを長期間差し込んだままにしていると、コンセントとプラグの周辺にほこりがたまりやすくなります。そこに水滴や湿気が加わるとプラグの刃と刃の間に電流が流れて火花放電を繰り返します。そうすると、その部分が炭化して電気が通るようになり発火する現象です。

このマークは、取り扱いを誤った場合、重篤な被害を負うことが予想されますので注意をお願いするものです。

